

令和8年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会 報告書

1 会議名 令和8年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会

2 開催日時 令和8年6月2日(火)午後2時～3時30分

3 開催場所 木更津市中央地域交流センター 多目的ホール

4 出席者名

委員：白石和義、石村比呂美、伊藤素子、吉田信明、水島享子、川名達也、佐久間智之、
瓦林恵里佳、近藤直弘、鎌田節子、佐藤優希(11名)

事務局：廣部昌弘教育長、安田貴之教育部長、水越学教育部次長兼文化課長
山下理生涯学習課長、石渡恵係長、堀田かおり係長(6名)

説明のため出席：難波秀和まなび支援センター所長、北村晴美図書館長、
松本明子郷土博物館金のすず館長

5 協議事項

(1)各委員の選出について

(2)令和8年度社会教育・生涯学習関係重点目標及び主要事業について

(3)吾妻公園文化芸術施設について

(4)その他

6 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人3名

7 資 料

令和8年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会 次第

令和8年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会 資料1

令和8年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会 資料2

令和8年度 千葉県社会教育委員の心得

会報誌「ちば社教連」第64号

一般社団法人 全国社会教育委員連合「社教連会報」No.98

木更津市立公民館運営審議会答申

8 会議の内容

事務局 ただいまより令和8年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会を開催いたします。木更津市社会教育委員ですが、現在3名から辞職願が出されており、後任の方の推薦依頼を行っているところです。そのため、現在の委嘱委員である委員18名中、本日は11名の出席であり、欠席は3名であります。従いまして、社会教育委員会議運営規則第3条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございますので、会議は成立しております。

なお、本会議は木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。本日の傍聴人は3名です。以上報告いたします。

初めに、白石議長からご挨拶をお願いいたします。

白石議長 皆さんこんにちは。昨年度は、いろいろご意見等いただきまして誠にありがとうございます。

今年度第 1 回定例会ということで、昨年同様ご意見いただきながら、盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

明日、台風が今のところ直撃の予報になっておりますので、準備等いろいろあると思いますが、今日は限られた時間内で皆さんのご意見をいただきたいと思っております。至らない議長ではございますが今年度も頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。簡単ではございますが、私の挨拶にかえさせていただきます。

事務局

ありがとうございます。続きまして、廣部教育長よりご挨拶を申し上げます。

廣部教育長

ただいま白石議長からお話がありましたけれども、台風が迫っており木更津市内小中学校は明日、全部休校になりました。ただ富来田中学校が明日から修学旅行ということで、今どうしたものかということと一緒に考えています。なかなか行くのが厳しいのかなと思っていますので代替案をどうしようかと思っています。

先日、高知県の全国都市教育長協議会がありました。昨年からの会長のやらせてもらっている関係で出席したところ、全国の教育長の話題はほとんどが人口減少の話でした。例えば高知県は年間の出生者が3,000人を切ったということです。高知県の人口が約64万人、高知市の人口が約31万人であり、木更津は市で出生者が大体800人ですから相当減ってきています。

先週、政策企画課の方で県内各種の人口予想を出し、千葉県は初の人口減ということでした。2050年木更津市の予想はマイナス 1.7%であり、25年後も13万5000人前後を維持しているという予想でした。隣の君津市、富津市は、48%減や60%減ということで、まさに大きな過渡期を迎えています。持続可能なまちづくりとして選んでもらえるまちにするためにはどうしたらいいのかというのを他の市町村もよく話をします。私の立場ですと、教育が魅力で木更津に住みたいと言ってもらえるようにしたいと思っています。木更津市で学びたいことを学べ、やりたいことが出来るということが、非常に大事だということを考えています。

私も今年 66 歳になりまして、年を取ってくるとやはり自己実現、達成感がすごく大事だということを考えます。今年 4 月 1 日から公民館が地域交流センターになり、今日の議題でもある吾妻の文化芸術施設ができ、富士見通りも新しくなります。これから駅前庁舎の建設に入る地域交流プラザ等、本当に木更津市の未来は明るいと思っておりますので、これからまさに変わろうとしている木更津に皆さんのお力添えいただきながら、持続可能なまちづくりに教育委員会としても大きく貢献していきたいと考えております。ぜひ社会教育委員の皆様方にもご意見いただければありがたいなと思っております。本年度もよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございます。次に、教育委員会事務局の職員を紹介いたします。

職員紹介／自己紹介

今後の進行につきましては、木更津市社会教育委員会議運営規則第二条第 4 項により、白石議長にお願いいたします。それでは白石議長よろしくお願いいたします。

白石議長

それでは進めさせていただきます。お手元の第 1 回定例会資料をご覧ください。協議事項(1)各委員の選出についてですが、社会教育委員に対していろいろな会議の代議員、委員の推薦依頼がきております。例年、任期途中の方はそのまま続けていただいております。そ

れ以外の委員の選任について、事務局に案があれば、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

異議なし

異議がないようですので、事務局よろしくお願いします。

事務局説明

白石議長 ありがとうございます。事務局より提案がありました。それぞれの委員について、皆様にお諮りしたいと思いますが、いかがでしょうか。

異議なし

ありがとうございます。それではよろしくお願いいたします。

続きまして、協議事項(2)令和6年度社会教育、生涯学習関係重点目標及び主要事業について、各担当課より説明をお願いいたします。

各課長、館長等説明

白石議長 ただいま2つの課、3つの施設より今年度の事業計画の説明がありました。今回公民館から地域交流センターに変わりました事業計画も掲載されております。この中につきまして皆様のご意見、ご質問等ありますでしょうか。

伊藤さん 文化課の「アートとふれあおう」の11月21日が木更津子どもまつりの開催日と同日なので、駅周辺でやる場合、混雑する恐れがあるかなと思いました。関係者もいるかもしれないので、そこところはご確認いただいたほうがいいかなと思います。

白石議長 ありがとうございます。

続きまして、(3)「吾妻公園文化芸術施設について」です。事務局より説明をお願いします。

事務局説明

白石議長 ただいま説明がございました。皆様のご意見を伺えればと思います。

川名委員 財団法人による一括管理を行うメリットデメリットについてということに繋がっていくことなのですが、私としても質問というか、お話してきておきたいことがございまして、紙にまとめてきたので読ませていただきます。

まず前提として申し上げますが、これからお話しする内容は過去や現在の文化施設、図書館のあり方を批判する意図は一切ございません。この前提が揺らいでしまうと、私の話の趣旨がぶれてしまいますので、最初に明確にしておきます。

以前の会議でいただいたフリーペーパーの「TokoTon KaZuSa」の中に、上総地域の中学生による税についての作文が掲載されておりました。その中で、太田中学校の生徒が文部科学大臣賞を受賞しておりまして、千葉県初の快挙とのことで大変すばらしいと感じました。その作文を要約しますと、大分市から木更津市に引っ越した筆者が図書館や学校図書館の規模の違いに驚き、その背景にある税収と税金の使われ方を調べたところ、大分市と木更津市は税金の用途も異なり、税金は市民生活を支えるために最適化されていることを理解したという内容なんです。読んでみましてまさに受賞にふさわしい作品だと思いました。税についても、結構深く細かい数字も出ているので、ご一読いただければと思います。ホームペー

ジにも載っておりました。

その作文の中に、木更津市の図書館も楽しみにしていたが行ってみると市立図書館は小さく、学校の図書室も少なくて正直がっかりしたという一文がありました。これを読んで子ども達を感じている文化への距離というものを、どうにか縮められないものかなと考えていたところ、ちょうどこの令和7年度第2回木更津市図書館協議会会議録が届きまして、読ませていただきました。こちらは議論の中心は吾妻公園文化芸術施設の施設運営管理方針についてとなっております、前回の社会教育委員会議でも触れられた財団法人化も詳しく議論されておりました。

私は青少年補導員という立場であり、先ほどご推挙いただきました青少年問題協議会委員という立場ですので、あくまでも木更津市の未来である子ども達が、いかに木更津市の文化の近くにいれるかということを考えてみました。例えば図書館であれば、人と本をつなぐ専門家の図書館司書の方が、図書館を訪れた中学生にレファレンスを行って、その子に合った本を紹介したり、多目的ホールであれば、講演会と音楽会では必要な設備が大きく異なるそうで、音響照明舞台配置をその都度切り替える必要があるというふうに伺いました。それを行うにはより運営側の負担も大きくなるので、専門のスタッフの確保や運営体制の整備が不可欠ということです。それを踏まえまして、著名な音楽家さんたちが来たくようなホールに育ててもらえれば、子ども達が質の高い音楽に触れる機会が増えると思います。図書館の司書の方ですとか、ホールの専門的なスタッフが専門性の維持をしていただくことが、青少年の学びの質の維持に繋がると思います。そのためには、できるだけ専門性を継続できる運営方針を望みたいと思います。

図書館の蔵書数に問題があるのであれば、先ほど北村館長からお話いただいたように、図書館、学校、地域交流センターで連携して木更津市として何か1つの、単館図書館等のくくりではなく、大きな図書館のような大きなイメージを抱いてくのはどうでしょうか。音楽についてはあまり詳しくないので申し訳ないのですが、例えば吾妻のホールが練習に向かないのであれば、どこか地域交流センターの1室を、音響だったらこれに勝るものはないというレベルの部屋に作ったりして、ホールと連携させると文化を広げる工夫ができないかということも考えていければと思います。吾妻文化芸術施設を文化の核として、木更津市の文化の向上に役立てていただければと思います。

最後に1点質問です。今申し上げたようなことも含めまして、今後、社会教育委員として会議で希望のある議論を深めていくにあたり、それを受け入れてくれる余白というのはまだあるのでしょうか。

事務局 教育委員会としても、今回いただいた意見は適切に伝えていきたいと考えています。

川名委員 図書館協議会の会議録を見る限りですと、もうほぼ決まっているという感じの文章だったので、どのあたりまで要望が通るのかや、財団法人化が決定しているのであれば、そのように言っていただいた方が、私たち社会教育委員も話す内容が変わりますし、そういった希望が通るのかっていうところ、お聞きしないといけないのかなと思いました。

安田教育部長 貴重なご意見ありがとうございます。企画部としての意見としては、財団を作り、指定管理

をさせることにより、文化芸術や社会教育を続けていきたいというものです。また、指定管理だけにしてしまいますと、契約期間が5年と決まっているため、次の指定管理者が変わってきってしまう可能性があります。市として財団法人を作ることで、そこに社会教育や文化の充実といったものを繋げていきたいということを企画の方は考えています。

先ほど委員がおっしゃったようにホールのスタッフ、舞台や音響、そういったものに関してはやはり専門職、専門性が必要だと考えています。図書館に関しても、やはり図書司書等、専門性を持つ人材が必要です。その財団がもし指定管理をするとしても、その辺の要素は踏まえてくださいという意見は言っていないといけないと思っております。決まっていることはありませんが、市長部局としては財団に指定管理をした方が継続性が出るのではないかとという意見で前回お話をいただいたところだと思いますので、図書館協議会の意見、社会教育委員会議の意見といったものを、教育委員会議の方にも挙げさせていただきながら、返事をしたいと考えております。

近藤委員

川名委員のお話を聞いて、方向性が非常にわかりやすく、説得力がありました。今回の議事録も出るということですので、川名委員をほぼ追従する話ですけども、意見としてお話しせていきたいと思います。

中規模ホールに特化した話になるのですが、子どもと文化の距離というところは非常に重要だと思っております。中規模ホールについては音楽の観点から見ると、単なる箱を作ればいいという話ではないのは本当に事実でございます。君津文化ホールのように、子ども達が直接本当の芸術と触れ合うという機会があると全然違います。ホールも音響設備や、実際に目にする照明、「こういう理由でこういうものがあるよ」とかの説明も含めて、本格的なオーケストラを小学生中学生に経験する機会ができるといいなあとというふうに見ているので、木更津市の子ども達が本格的な芸術に触れる機会というのは、是非このホールであってほしいと思っています。多目的ホールというのは箱があって椅子があればいいという話ではないので、そのところの方向性を、ぜひ今から考えていただければと思います。

予算によっては不可能なものも出てくると思いますけれども、まずはその辺の方針を地元の音楽をやっている市民団体や吹奏楽をやっている団体、合唱をやっている団体等と確認していただければと思います。子どもを育てる場所としての文化は今まで、残念ながら木更津市にはなかったもので、この文化をぜひとも作っていただきたいと思います。

市からも文化芸術というお話がよく出ていますけれども、川名委員のように「文化芸術とは」というところの具体的な話まで突っ込んだ話をしていただけるといいなと思います。文化芸術を目指す方向性等の表現というのは本当にふわっとしていて、何をやりたくて何を考えているのかが伝わりづらいので、ぜひともこれからそこら辺の方針も含めて具体的にお話いただけると非常にありがたいと思っております。

鎌田委員

吾妻公園文化芸術施設については、その都度討議されていて、いろいろな意見が出されてきたかと思います。市民会館が閉館になり、木更津には君津文化ホールのような施設がなくなってしまうという時に、降って湧いたように、吾妻に施設ができるという話になり、市民の間には、とても期待感があつたと思うんです。社会教育委員になり、こちらの会議に参加したと

ころ、ホールの規模は今建てるのであれば 1,000 人規模の方がいいという話もありましたが、もう設計段階なのでそれは無理だということで、750 名となったかと思います。私は図書館協議会の方にも参加しているので重複してしまうのですが、せっかく作るホールなのに椅子の出し入れに音が気になる等の話が出た際、この施設は防災を目的とした施設だというような回答が返ってきました。川名委員もおっしゃっていましたが、今後私たちがここで意見を言い合って、それが本当に反映していただけるのかどうか先行き不安を感じています。せっかくの機会ですから、やっぱりいい施設を作ってもらいたいですし、できる限り市民の目線に寄り添った、期待にこたえられるような施設を、社会教育委員としても私個人としても期待したいです。事務局の方も企画の方との交渉で大変かもしれないですけど、そこは教育委員会として腹を据え議論していただきたいなっていう思いでいっぱいです。

瓦林委員

私はバレエ教室で、バレエを教えております。発表会を市民会館ですっと行ってきましたが、市民会館が使えなくなってしまう、君津市民文化ホールやっていたのですが、君津も来 4 月以降閉館するというので、慌てて発表会を前倒したりしている状況です。吾妻にホールができると聞き、子ども達も地元の子が多いので、木更津で発表会ができると、お友達が見に来やすいというところがあり嬉しく、楽しみにしているところです。

木更津市民会館の大ホールはすごく音響がよく、君津よりもよかったという話があり、プロの音楽家さんたちが来ると「木更津市民会館は音がいい。響きがいい」とおっしゃっていたそうです。これからは災害時の利用のことも考慮しなければならないが、壁の凹凸とか音響のことも考えて作っていただきたいです。

また、現在中ホールの指定管理で良い方がいらっしゃるんですが、指定管理なので来年いかどうか分からないので、財団法人等で継続的に引き継いでくれると、こちらもお願いするにあたり安心感があります。以前、君津の舞台で音響さんをお願いした時はちょっとひどくて、やはりいつもお願いしているプロの方に依頼した方が良かったという舞台が 1 度ありました。プロでやってくれる方がいてくれるとありがたいです。

安田教育部長

ハード面では吾妻公園文化芸術施設の実施設設計の段階にまで入っておりますので、700 人程度のホールでは小さいとの意見に対しては厳しい状況にございます。ただ、スタッフの関係、演出、音響の関係といったものは、今の市民会館中ホールにしましても音響等、指定管理として委託しておりますが、再委託する形を市は認めておりますので要望はしたいと思っております。ハード的なものの変更は難しいですが、ソフト面や対応面、管理体制等、そういった箇所は皆様のご意見をいただければと思っております。

佐久間委員

私も会議録を一読いたしましたが、図書館協議会の会議録がすべてなのかなと思っております。ハード面は難しいということは委員の皆様ご承知だと思います。ソフト面で先ほどお題をいただき、図書館、ホール、交流センター、公園の観点から、財団法人の一括管理のメリットとデメリットそれぞれ民間が強いところ、行政が強いところあるのかなと思います。特に図書館は、会議録でも記載がありましたとおり、民間依頼は少なく、図書館長から説明がありましたが、今木更津市でやっている中で規模の話等あるかもしれません。民間だけでどこまでできるか疑問が残るかなと思います。

一方で、青少年相談員は市民会館中ホールを作文発表会で使わせていただいておりますが、専門の方が常駐しており、我々青少年相談員も他の利用する方々も任せているのかなと思います。そういった部分ではプロパー職員として関与しないところなので、お願いするしかないというところもあると思います。

公園の管理は、市街公園、都市公園等いろいろ大きさもあるかと思いますが。委託でやっているところもあれば、直営でやっているところもあるかもしれません。高い専門性を持つということと、文化芸術施設なので、その辺をどう生かしていくか、どう実現していくかが、難しいところだと思います。

メリットとしては確かに一括管理が好ましいと思いますが、一括管理にした際、市職員の能力が必須になってくると思われ、その点を今後どう集約・反映していくかを教育委員会と市長部局でうまくやっていただければと思っています。

石村委員

私は、一括指定管理はあまりよくないと思っています。先ほどバレエの発表会、ホールの音響の話もありましたが、君津文化ホールや木更津市のホールはある程度のプロの皆さんが入っていると思います。ただ、そこまで専門性を求めてしまうと、単価も高くなるのではという懸念もあります。一括指定管理で委託を依頼した際、企業としては利材も稼がないといけなくなります。私はホールも図書館も、ある程度の専門性を持った業者さんをそれぞれ探された方がいいなと思っています。金田地域交流センターのときもそうでしたが、結局は大きな業者が有利になってしまったり、施設管理とか警備をやってる会社さんが指定管理を落としてしまうことになります。それが手薄になるとは思えないですけども、もっと専門性を持った人たちに、もっとうまくやってもらいたいのかと思います。全体の管理の方に目がいってしまうというのは、いかがかなと思っています。本当の専門性は難しいかもしれないけれど、ある程度の専門性を持った各得意分野の業者さんたちにそれぞれ請け負ってもらった方が運営がうまくいくのかなと、図書館も同じようなことがいえるのかなと思いました。

先ほど皆さんからのご意見の中にあつたように、何でも受けてもらえるとは思いますが、ここで話し合ったことが何らかの形で生きていたんだなと思えるような、そういった形が整えられるとありがたいなと、一委員として思っています。

白石議長

一括管理というよりは専門的な分野もありますので、そういうご意見もあるかと思いますが。そちらの方も検討していただければと思います。

吉田委員

専門性を持ったところでいいですと、学校の文化祭があります。ここ数年前からステージ等全部、専門業者にかなり立派なステージを作っていただき、専門の音響さんにも依頼してステージ発表をやっています。かなり立派なものができるので、子ども達やお客さんにすごく喜んでいただいております。やはり専門の業者なので毎年いろいろ新しい提案をもらったりして、立派なものが作り上がっていくので、専門の方をお願いできればいいのかなと思います。

佐藤委員

やはり一括管理は、意思決定がやりやすいという点ではメリットだと思います。しかし、裏を返せば1つのところで決定してしまうというところが逆にデメリットにもなり得る点だと思います。皆さんおっしゃっているように専門性が必要な部分について、特に専門性が薄いところ

の部分で決められてしまうとデメリットになり、逆に一括管理をしない方がよかったのではないかという話にもなりかねないので、そうならないようにしていただく必要があるのかなと思います。

そのような中で、先ほどお話にも出たように、現段階ですでに決まっていて、今後の運営において、いろいろな意見が出て一体どこまで反映していただけるのかわかりませんよねという話は絶対出ると思うので、今の時点でこうなっている原因をもう少し追求していただいたほうがいいのかと思いました。

水島委員

私は皆さんとちょっと視点が違うのかもしれませんが、子ども達のことを頭の中に浮かべて皆さんのお話を聞いておりました。子ども達がこの木更津市で過ごしていく中で、すばらしい施設ができるということは多分自慢になると思います。そこで活動すること自体、子ども達にとってはモチベーションの向上にも繋がると思っています。なので、どんどん子ども達が活用できる場として、この施設ができるのは嬉しいなあと思いつつ、ここでこの希望を出したところで、どこまで通るのか。もうでき上がってるものに対して意見を言うのもどうなのかと1年間、社会教育委員として携わってきてそういう思いもあります。

この1年で希望として申し上げてきたことが、実際どこまで叶っているのかというのも疑問でもあります。以前、お伝えしたのが机の角や柱の角についてです。子ども達がぶつかったときに、目に刺さらないかとか、子ども達にやさしい施設なのか等、赤ちゃんからお年寄りまでが利用しますので、高齢者の人に対してエレベーターの広さだったり、障がい者の方もおそらく利用されると思いますので車椅子が通るスペースや手すり等、そういったものの整備や非常口っていうのがちゃんと確保されているのかとか、そういったことも含めて、私はちょっとそちらの方が気になっております。

ホールの規模の話も、私はいまだに納得はしておりません。娘がこの1月に20歳になりまして、かずさアカデミアホールで二十歳を祝う会を行ったんですが、木更津市は午前と午後の二部制になっております。私の娘は午後からの部だったんですが、急ピッチで式を進めているような気がして、この子達のための日なのに、なぜそんな時間を区切って制限してやらなければいけないのか、木更津市で20歳を迎えた子ども達が一齐にこの施設でできればいいのになあと思っております。ここはもう変えられないところではあるんですが、また子ども達の出番っていうのがたくさんあると思います。小学校中学校にはおそらく合唱部や合唱団があると思いますが、その子たちが発表できる場所も今はなくなってしまいました。とても素晴らしい歌声を披露できる合唱コンクールが、昔大ホールで開催されていました。私も見に行った記憶がありますが、大きな大会に参加しようとするとしても子ども達は電車に乗って千葉まで行かなきゃいけないので、吾妻の施設が子ども達の活躍できる場になればいいなと思います。親目線として子ども達のことを考えると、こういう意見になってしまいます。

石村委員

君津市民文化ホールは今年開館35周年を迎え、令和9年4月より改修工事で1年半ほどクローズされます。大ホールにつり天井があるんですが、東日本大震災のときに九段会館でつり天井が落ちた経緯があり、これは何としてもやめようということで今回大改修の工事を

行うことになりました。でも、エレベーターも付けられない、あれもこれも変えられないというような状態が続いているようです。今回、本当に最小限で 35 年目での工事のようですが、君津市民文化ホールの母体である財団法人も、たくさんの問題を抱えているようです。ハード面もそうですが、ソフト面にも問題があるそうで、ぜひそういったことも参考にさせていただくと、今後の何か運営に長い目で見たとときに参考になるのではないかと思います。皆さんのやっтерことが決して悪いわけではないのですが、それを一括してちゃんと見つめていく立場の人の難しさみたいなものもあり、これから指定管理になったとしても、行政の方でフラットな目線でホールが継続できるように、施設として継続できるように、少し君津にお話を聞いてみたりするなんていうのはいかがかなと思いました。

伊藤委員

水島委員が仰ってくださった子どもが使用するという部分で、私も中高生の合唱コンクールはホールでやる方が体験的に違うので、これはぜひとも実現させたいと思いました。

市民の声を拾えていないのではないかとという部分が一番問題だと言った佐藤委員の意見に対してで、要するに財団法人になると言った話があまりに急に聞こえた部分はやはり、その過程を私たちがよく見えないまま企画に話が持ってくれたように見えた観点から、今後の使い方あるいは設備をどう取り入れるかという部分もおそらく変わってくるのではないかなと思っています。そのあたりの計画性の部分が見えてこないから市民の声を上げにくいというのもあると思います。

自分たちの私用の観点からの言い方で申し訳ないですが、木更津市民がより優先的にそのホールを使えるかという部分が運営面にすごく重要だと思います。地域交流センターに移行した際に関して、その部分が何か曖昧かなと思ったので、もう一度見直していただいた方がよいような気がしました。

白石議長

皆さん貴重なご意見いろいろありがとうございました。今回、吾妻公園、文化芸術施設につきまして、図書館・ホール・交流センター・公園と、他にない 4 つの施設が一緒になった複合施設の建設計画を進めているわけです。この中で先ほど安田部長が言われましたように、ハード面に関してはもう決まっている部分が多いですが、ソフト面につきましては、また今後も皆さんのご意見いただきながら、木更津ならではのよい施設、特に専門性も含めた施設にさせていただいて、地域を引っ張る木更津市でありたいと思います。そういう形で進めていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは協議事項(4)その他について、事務局の方お願いいたします。

事務局説明

白石議長

それでは協議を終了したいと思います。事務局へお返しします。

事務局

ご意見ご協議ありがとうございました。それではこれもちまして、令和8年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会を終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。